

龍田西小学校が開校しました！

平成28年4月、過大規模校であった龍田小学校からの分離新設校として、市内95校目の小学校、『龍田西小学校』が開校しました。



校章

【校訓】 自主 協働 感謝

平成28年4月1日に、児童数583人、教職員数43人で開校した龍田西小学校は、陣内立田の杜の高台に位置しています。市内を一望できる敷地を生かした空間設計と和モダンな学校建築の技術を集約して建築されており、児童及び保護者、地域の方々、そこで働く教職員の大きな誇りです。

総面積23,000㎡の広大な敷地に、3階建ての校舎やゆったりとした体育館、多学年交流にも活用できるランチルーム、誰にでも利用しやすいつくりのトイレ、中水道システム上にある芝生の中庭には、児童に人気の遊具があり、環境にも人にも優しい学校です。

今後、龍田の歴史と伝統を受け継ぎながら、学校、家庭、地域がさらに一体となり、感謝の気持ちをもって一步一步前に力強く進んでいきます。



<登校の様子>



<中庭で遊ぶ子どもたち>

<問い合わせ先> 教育政策課 TEL 328 - 2704

check! 教育委員会の広報誌は熊本市のホームページでも見ることができます

熊本市ホームページ (<http://www.city.kumamoto.jp/>) > 分類から探す > 学び・観光・スポーツ > 教育・学校・青少年・若者 > 教育・学校・青少年の情報

with you (ウィズ・ユー) についてのご意見・ご要望をお寄せ下さい。

編集・発行 〒860-8601 熊本市中央区手取本町1-1 熊本市教育委員会教育総務部教育政策課

TEL 096-328-2704 FAX 096-359-6951 e-mail: kyouikuseisaku@city.kumamoto.lg.jp

●学校教育コンシェルジュによる相談窓口を開設しました

学校教育コンシェルジュとは？

学校教育に関するあらゆる相談に応じる専門のスタッフのことです。

「どこに相談したらいいのかわからない」「学校にはあまり相談したくない」という悩みにも丁寧に対応し、保護者の方々とともにお子様のことについて考えていきます。まずは電話でご相談ください。

利用できる人は？

熊本市立学校に通う子どもの保護者の方であればどなたでもご利用いただけます。

相談員はどんな人？

学校教育に詳しい相談員4人が相談に応じます。

どんな相談に応じてくれるの？

- ・部活動の過熱が心配。休みがなく子どもも疲れている様子。どうしたらいいのでしょうか？
 - ・子どもがクラスでいじめられ登校をしぶっている。学校に相談したが解決が難しい・・・
- など、学校教育に関するあらゆるご相談に応じます。

相談したらどうなるの？

中立・公平な立場で相談に応じ助言等を行います。必要に応じて、学校に助言・支援等を行い適切な対応を促すとともに、学校等の現場に出向き対応する他、スクールソーシャルワーカーとチームを組んで内容に応じた支援を行います。

秘密は守られますか？

相談内容など、プライバシーや秘密は厳守しますので安心してご相談ください。

相談受付窓口

<電話相談>

096-362-7171

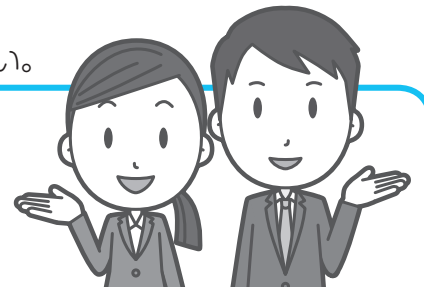
月曜日から金曜日（祝日・年末年始は除く）
午前10時から午後6時

<メール相談>

7171con@city.kumamoto.kumamoto.jp

※メールは、お返事を差し上げるまでに時間がかかることがあります。

（こどもセンター「あいぱるくまもと」2階教育相談室内）



<問い合わせ先> 総合支援課 TEL328-2743

●子どもが学校にいる時に地震がきたら・・・

教育委員会では、子どもたちが学校にいるときに地震に遭遇した場合を想定して、下の表のような学校の対応を示しています。これをもとに学校では、子どもたちの身の安全確保に努めています。お子様の学校の対応について詳細にお知りになりたい方は、各学校にご確認ください。

一次避難（初動）	校舎外避難の決定	二次避難	避難後の対応
校長の対応 ・全校への指示 ・避難口の確保 教職員の対応 ・身の安全の確保を指示 ・扉の開放 ・負傷者の確認 児童生徒 ・物が落ちてこない、倒れてこない、移動してこない場所へ身を寄せる。 ・机や鞆、腕で頭を守る。	判断のポイント ・震度5以上 ・校舎の倒壊 ・火災 ・津波警報 等 避難経路の安全確認を行い、全校への指示を行います。	校長の対応 ・全校への指示 ・持出品の携行 児童生徒の名簿 関係機関連絡一覧表 防災ラジオ 救急用品 等 教職員の対応 ・児童生徒への指示 ・避難誘導 ・負傷者運搬 児童生徒 ・「押さない、走らない（かけない）、しゃべらない、戻らない」を意識し頭を守りながら避難する。	震度5以上 原則として、保護者引き渡しによる下校（それまでは学校待機）。
			震度4以下 原則として、通学路の安全を確認の上、集団下校。

<問い合わせ先> 健康教育課 TEL328-2728

充実した夏休みを過ごすために

●夏休みの過ごし方

休みが長く続くとほっとして、それまで気を張っていた生活から解放され、思いがけない心身の疲れが出る場合があります。子どもたちも同じです。

このようなときの子どもの心の中は、好きなことでもやりたいと思わなくなったり、自分が一人ぼっちになった気がしたりして、何でもないことでそわそわ、びくびく、いらいらすることがあります。ご家庭では、強く叱ったり励ましたりしない、無理に震災のことを思い出させないようにするなどして、次のようなことに気をつけながら夏休みを過ごしてみませんか。

- 生活リズムを整え、充実した毎日を過ごしましょう
- 親子で一緒にリラックスして過ごしたり、楽しい体験をしたりしましょう
- 子どもも家族の一員として、家庭内の仕事を分担しましょう



<問い合わせ先> 総合支援課 TEL328-2743

●早寝 早起き 朝ごはんを心がけよう

子ども達の健やかな成長のためには、規則正しい生活習慣の構築が重要です。生活リズムが崩れやすい夏休みの時期だからこそ、早寝・早起き・朝ごはんに取り組んでみませんか。また、テレビやゲームの時間など、親子で話し合って家庭でのルールづくりをしてみるのもいいかもしれません。

①早ね早おきて生活リズムを整えよう	②朝ごはんをしっかりとうろ	③元気いっぱい体を動かそう！
早寝早起きを実践し、規則正しい生活習慣で体内時計のリズムを保つことにより、頭も身体もベストな状態になります。	朝食を食べることは、子供にとっても大人にとっても大切なことです。 よく噛んで食べることは、脳や消化器官を目覚めさせます。	夕方までの時間に適度な運動をすると、夜ぐっすり眠れます。また、筋肉や骨が丈夫になり、たくましい身体がつくられます。

(参考：文部科学省『できることから始めてみよう 早ね早起き朝ごはん』)

●熱中症を予防しよう

- こまめに水分をとろう！
- 外に行く時は帽子をかぶろう！
- 暑い時は薄着になろう！
- 何度も休憩をとろう！
- 気分が悪くなったら
すぐに先生や大人に知らせよう！



- (注意のポイントと対応)
- それほど高くない気温(25～30℃)でも湿度が高い場合に発生しています。
 - 服装は軽装とし、こまめな休憩・水分補給を心がけ、体育館など屋内の活動の場合は室内の換気を積極的に行うようにしましょう。



(参考：日本スポーツ振興センター啓発資料「熱中症を予防しよう」)

<問い合わせ先> 健康教育課 TEL328-2728

●震災による指定校変更・区域外就学許可について

下記の理由により校区外通学が相当と認める場合は、許可を行います。なお、就学許可については、市教育委員会

【市内間転居】

1. 家屋の損壊等により校区外に転居した場合、全学年を対象に卒業まで就学を認めます。
2. 家屋の損壊等により校区外に転居した後、再度、別の校区へ転居した場合、全学年を対象に卒業まで就学を認めます。

●夏休みの学習

熊本地震の影響により休校になっていた分の授業時数を確保するため、1学期の終業式が7月22日（金）、2学期の始業式が8月25日（木）になっています。今年の夏休みは、33日間という、いつもより短い夏休みですが、さまざまな工夫により充実させましょう。



《夏休みの計画の立て方》

その1 全体の予定をたてましょう。

まず、カレンダーを用意して、決まっている行事（旅行や登校日、部活など）を書き込んで下さい。

ポイント1  夏休みにやることを書き出しましょう。

- ①絶対にやらなければならないこと（宿題など）
- ②絶対にやりたいこと（習った英単語を覚えるなど）
- ③できればやっておきたいこと（応用問題を解くなど）に分けて書いてみましょう。

その2 1日の過ごし方、具体的にやる日を決めましょう。

「午前中に問題集をする」「午後は自由時間」など、いつ、何をやるかを具体的に決めましょう。

ポイント2  1週間に1回は計画を見直せるように予備日を作るようにしましょう。



理科などの自由研究については、日頃の疑問からテーマを決め、解決方法を考え、観察・実験・調査を行います。このとき、安全に十分配慮することが大切です。困ったときは、教科書を参考にしたり、市立図書館の「夏休みに役立つ本展」や学校の先生や地域の方々、熊本博物館の学芸員などの専門家に相談したりして進めましょう。

<問い合わせ先> 指導課 TEL328-2721

へ申立てを行う必要があります。

【市外転居等】

1. 家屋の損壊等により市外へ転居した場合、全学年を対象に年度内の就学を認めます。
2. 家屋の損壊等により市外へ転居後、再度、市内の別校区へ転入した場合、全学年を対象に卒業まで就学を認めます。



<問い合わせ先> 学務課 TEL328-2716

●新たな熊本市教育振興基本計画を策定しました

教育委員会では、教育基本法に基づき、平成28年3月に「熊本市教育振興基本計画（平成28～31年度）」を策定しました。

基本理念

徳・知・体の調和のとれた人づくり～教育都市くまもとを目指して～

施策の基本方針

- (1) 徳・知・体の調和のとれた教育の推進
- (2) 子ども一人ひとりを大切にする教育の推進
- (3) 安全で良好な教育環境の整備
- (4) 学校教育と福祉の連携の推進
- (5) 生涯を通して学び、その成果を地域に活かすことができる環境の整備
- (6) 豊かな市民生活を楽しむための文化の振興
- (7) 生涯を通して健康に過ごすためのスポーツの振興

重点的取組

平成31年度までの4年間の計画期間において、4つの項目を重点的に取り組みます。

(1)いのちを大切にする心の教育の充実と、いじめや不登校への細やかな対応

【主な取組】

- ・自然体験などの体験学習の充実
- ・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなどによる相談体制の充実

(3)教員が子どもと向き合うための体制の整備

【主な取組】

- ・学校教育コンシェルジュの配置
- ・小学校の運動部活動の見直し
- ・学校、家庭、地域の連携強化

(2)確かな学力の向上と社会の変化に対応した教育の推進

【主な取組】

- ・少人数学級や少人数指導の推進
- ・教員の研修の充実や指導力強化
- ・英語教育の推進、ICT等の活用

(4)学習に集中できる教育環境づくりと安全対策の推進

【主な取組】

- ・校舎、体育館、トイレ等の計画的な改修
- ・小中学校の防犯カメラの設置推進
- ・ICT機器やデジタル教材の計画的な整備

<問い合わせ先> 教育政策課 TEL328-2704

●お子さんと一緒に出かけてみませんか～夏の催し～

夏休みに役立つ本展

熊本市立図書館では、夏休みを迎える子どもたちのために、次のとおり自由研究等に役立つ本を展示します。どなたでもご利用できますので、お気軽においでください。

日時：7月5日（火）～9月4日（日）

場所：市立図書館1階カウンター前

内容：自由研究のガイド本、調べ学習に関する本など

<問い合わせ先> 市立図書館

TEL363-4522



アンモナイトレプリカを製作する様子（熊本博物館）

子ども科学・ものづくり教室

熊本博物館では夏休みに楽しめる講座を企画しています。費用は全て無料です。

- ① 科学手品&液体窒素実験ショー
8月6日（土）午後1時半～3時半
- ② 大気圧と真空の実験ショー
8月14日（日）午後1時半～、2時半～、3時半～
- ③ 水中UFOキャッチャーを作ろう
8月20日（土）午後1時半～3時
- ④ 紙バックカメラを作ろう
8月27日（土）午後1時半～3時半

対象：小中学生（小学校3年生以下は保護者同伴）

定員：①②はどなたでも（直接会場へ）③④は25名（抽選）

場所：塚原歴史民俗資料館

申込：③は8月12日、④は8月19日必着で、往復はがきに講座名、住所、氏名、学年、電話番号を書いて、〒861-4226南区城南町塚原1924 塚原歴史民俗資料館へ。詳細は熊本博物館ホームページでご確認ください。

<問い合わせ先> 熊本博物館 TEL324-3500

●夏休みに読みたい本

この夏に読みたいおすすめの本を紹介します。紹介した本は、市立図書館、植木・城南・とみあい図書館・くまもと森都心プラザ図書館、各公民館図書室で閲覧・貸し出しができます。

<問い合わせ先> 市立図書館 TEL363-4522

小学校低学年向け

とべ バッタ



《はばたけ ゆうき！》

小さな茂みの中で、びくびくしながら暮らしていたバッタ。ある日、そんな生き方が嫌になり、大きな石の上でゆうゆうと日向ぼっこをすることにしました。ヘビやカマキリが襲ってきた時、ついに大空に向かって飛びました。力強いバッタに勇気づけられます。

(田島 征三／作 偕成社)

ロバのシルベスターとまほうのこいし



《深い愛の物語》

ある雨の日、ロバのシルベスターは願いを叶えてくれる魔法の小石を見つけて大喜び。そこヘライオンが現れて、驚いたシルベスターはあわてふためいて岩になりたいと願ってしまい……。シルベスターは、再び元の姿にもどれるでしょうか？

(ウィリアム・スタイグ／作 評論社)

小学校中学年向け

夜明けの落語



《自分の中の壁に挑戦》

4年生の晁音は、人前で話すのが大の苦手。日直で「5分間スピーチ」をするのが怖くて仕方ない彼女の代わりに三島君が落語を披露して助けてくれた。苦手を克服するために落語に挑戦することにした晁音の成長と、周囲の温かい関わりを爽やかに描く。

(みうらかれん／作 講談社)

犬のことばが聞こえたら



《犬がつないだ家族の絆》

ある夏の日の朝、ウィリアムのパパが、置手紙をしていなくなった。腹を立てたママは、パパの苦手な犬を4匹も飼うことにした。そんなある日、ウィリアムの耳に犬たちのおしゃべりが聞こえてきて……。犬たちとにぎやかに暮らすうち、家族がお互いに心を開き、再び絆を深めていく物語。

(パトリシア・マクラ克蘭／作 徳間書店)

小学校高学年向け

駅の小さな野良ネコ



《少年とネコ 支えあう心》

ある晩、心ない飼い主に川へ投げ捨てられた若いメスのトラネコ。必死で水から上がると……。野生動物が息づく緑豊かな郊外の町で繰り広げられる、両親を亡くした少年と捨て猫の心のふれあいの物語。動物との触れ合いによって、成長する少年の姿に寄り添って読んでみてください。(ジーン・クレイグヘッド・ジョージ／作 徳間書店)

中学生向け

庭師の娘



《自分を信じて進む》

本当の望みは、庭師になること。メスメル博士のお屋敷に、庭師の父親と住むマリーは、修道院で勉強中。だけど、考えているのは植物のことばかり。女の子が夢をかなえるのは難しかった時代、マリーは迷いながらも進んでいきます。自分の天職について考えてみる手がかりになる1冊です。

(ジークリット・ラウベ／作 岩波書店)

◆このコーナーでは、毎回、教育長と教育委員の教育に関する思いや抱負を紹介します。

避難所で子どもたちは、食事の準備や配膳の手伝い、お年寄りの体調を気づかうなど、自分たちができることを考え、助け合い、力を合わせて行動する頼もしい姿をみせてくれました。

子どもたちは、どのような時にも思いやりの心と強い精神力を持って困難に立ち向かい、これ乗り越えることによってたくましく成長していく力を身につけていることを、行動で示していました。これはまさに教育の力が生み出した賜物であり、改めて、教育が果たすべき使命の大きさを認識したところです。

平成28年3月に策定した新たな「熊本市教育振興基本計画」では、徳・知・体の調和の取れた人づくりに取り組んでいくことを基本理念としています。どんなに困難な状況にあっても社会を生き抜くたくましさや備えた子どもたちの育成に、これからも全力で取り組んでまいります。



熊本市教育委員会

教育長 岡 昭二

困難を乗り越えたくましく生きる

教育長・教育委員のひろば